第三者割当増資に関する補足資料

株式会社GRCS　証券コード：9250
2026年11月26日

2026年11月10日決議・2026年11月26日払込完了

詳細は、2026年11月10日開示資料「第三者割当により発行される新株式及び第６回新株予約権の発行並びに主要株主の異動に関するお知らせ」をご参照ください。

免責事項

本資料は当社の会社内容を説明するために作成されたものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述は、本資料の日付時点の情報に基づいて作成されています。

これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予想に関する記述には、必ずしも既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

これらの記述に記載された結果と大きく異なる可能性のある要因には、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

また、当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証しておりません。

© 2026 GRCS Inc.

本第三者割当増資　エグゼクティブサマリ

本第三者割当増資の目的

- ✔ 債務超過の解消及び財政基盤の早期安定化
- ✔ GRCセキュリティ特化AIプロダクトの開発・サービス展開の強化
- ✔ GRCセキュリティ事業拡大の加速

想定調達総額	割当先	希薄化率
最大約 11.3 億円	Fixstars Investment M&Pキャピタル Trojans	最大 69.22 %

詳細は、2026年11月10日開示資料「第三者割当により発行される新株式及び第６回新株予約権の発行並びに主要株主の異動に関するお知らせ」をご参照ください。

© 2026 GRCS Inc.

本第三者割当増資の概要

割当方法	第三者割当の方法による新株式①	第三者割当の方法による新株式②	第６回新株予約権	合計
割当先	Trojans	Fixstars Investment M&Pキャピタル	Fixstars Investment M&Pキャピタル	
発行新株式数	99,400株	551,800株	ー	651,200株
発行新株予約権数	ー	ー	4,055個 （新株予約権1個につき100株）	4,055個
資金調達額	99,996,400円	499,930,800円	調達総額（全行使時） 530,799,500円	1,130,726,700円
払込期日／割当日	2026年11月26日	2026年11月26日	2026年11月26日	
潜在希薄化率	最大で、2026年８月31日現在の当社発行済株式総数1,526,530株に対して69.22%（議決権の総数に対して70.66%）			

割当先について

Trojans	Fixstars Investment	M&Pキャピタル
経営陣のコミットメント	**事業パートナー**	**財務サポート**
代表取締役社長 佐々木による追加出資	GRCセキュリティ特化AIプロダクトの共同開発を推進し、資本業務提携をさらに強化・深化させる	M&Aや資本政策の知見を持つパートナーによる純投資

© 2026 GRCS Inc.

本第三者割当増資の目的と背景：財政基盤の安定化

- ✔ フィナンシャルテクノロジー事業における減損損失の見込み等により上場廃止リスクが顕在化
- ✔ 第一段階の新株式と新株予約権の発行完了により、2026年11月期末に見込まれていた債務超過を解消する見通し
- ✔ 第二段階の新株予約権の行使を含め最大11.3億円の調達により事業拡大を加速



GRCセキュリティ特化AIプロダクトの開発・展開を加速しGRCセキュリティ領域のリーダーへ

© 2026 GRCS Inc.

- ✔ フィックスターズと共同開発を進めるGRCセキュリティ特化AIプロダクトの開発体制を強化し市場投入へ
- ✔ AIプロダクトの本格展開を通して取引社数の拡大とストック収益の積み上げを推進へ

プロダクトへの AI実装 に投資

2030年にGRCセキュリティ領域のリーダーへ

1 専門的知見の蓄積

2 AI 実装による標準化

3 取引社数の拡大

4 ストック収益積み上げ



AI × GRCセキュリティ推進

Phase1｜2026 **基盤固め**



1,000社採用へ

Phase2｜2027-2028 **対象拡大**



営業利益15億円へ

Phase3｜2029-2030 **標準の確立**

※2026年２月26日開示「事業計画及び成長可能性に関する事項」より一部抜粋

© 2026 GRCS Inc.

調達資金の使途

守り：財政基盤の修復

支出予定時期

301百万円　財務体質健全化に向けた借入金等返済　2026/11〜2028/5

有利子負債を圧縮し、自己資本比率を高め、財務体質を早期に健全化

212百万円　フィナンシャルテクノロジー事業に係るインフラコストの支払　2027/1〜2029/11

中断プロジェクトにおける残存コストの精算

攻め：成長投資

282百万円　GRCセキュリティ事業規模の拡大に向けた人件費及び採用費　2026/12〜2027/11

新規専門人材の採用により、主力のGRCセキュリティ事業の成長を強化

200百万円　GRCセキュリティ特化AIプロダクト開発費　2027/1〜2031/12

本格拡大期へ向けた追加開発、営業関連費用に投資し、プロダクト主導型のサービスモデルへ転換

118百万円　セキュリティ領域のM&A費用　2027/1〜2032/12

更なる事業拡大と収益力向上に向けた、高度な専門人材や最先端セキュリティ・AI技術の強化のためのM&A

© 2026 GRCS Inc.

希薄化の合理性と株主構成について

希薄化について

株式数ベース　希薄化率

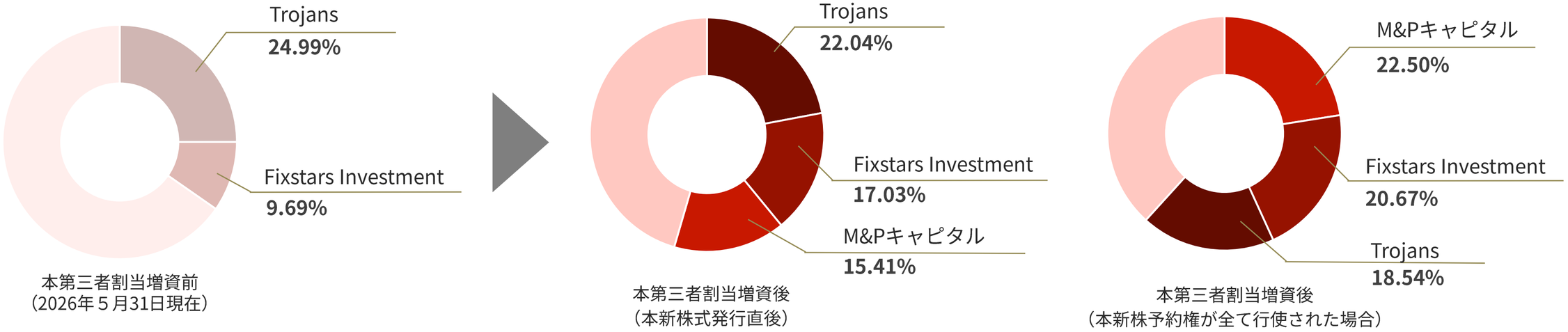
最大 69.22 %

（議決権 最大70.66%）



- **上場廃止リスクの回避**
  債務超過による上場廃止を確実に回避し、既存株主における株式の流動性喪失というリスクを防ぐために、早期かつ十分な規模の資本増強が不可欠
- **独立社外役員による検証**
  25%超の希薄化を伴うため、経営陣から独立した社外取締役2名、社外監査役3名が審議し、本第三者割当増資の必要性及び相当性が認められる旨の意見表明
- **想定外の希薄化進行を防止**
  本新株予約権の対象株式数は405,500株で固定されており、将来の株価変動によって潜在株式数が変動することはない設計

本第三者割当増資後の大株主及び持株比率　概要



© 2026 GRCS Inc.



www.grcs.co.jp